【保存版】
No. 63

2022年（令和4年）
2月15日発行

熊　地　区
防災のお知らせ

熊地区自主防災会
事務局

『 避難所の開設について』

南海トラフ巨大地震などの大規模な災害が発生した時、行政自体も被災しています。そのため地域の人達が主体となり避難所の開設や運営を行うことの出来る体制を作っていくことが大切です。

熊地区では、刈谷東中学校（山池町）と亀城小学校（城町）を会場に数年前から避難所開設の勉強会や開設訓練を行ってきています。

活動の一端を紹介します。

○亀城小学校

「亀城小避難所運営マニュアル勉強会」を行っています。参加者は亀城小の校長先生、市会議員、市危機管理課職員、NPO法人愛知ネット、刈谷西部、中部、熊地区の3地区の防災担当者です。

「だれでも対応可能な共通かつ明快な避難所運営マニュアル」を作成を目標に活動しています。これまでに刈谷市運営マニュアルの読み込み、改訂作業を終え昨年11月28日（日）には避難所開設キットの共通理解をし各班にわかれて開設の訓練をしました。

○刈谷東中学校

数年前から高津波地区と熊野町防災スタッフとで協力し、東中学校を会場に合同の避難所訓練を実施してきました。

避難者が困らないように、防災倉庫内の備品の確認、開設する時必要な備品「開設キット」の購入、学校のトイレの簡易トイレ化など、防災備品を整備しております。昨年11月28日（日）には避難者の受入体制を速やかに整え感染対策をふまえた避難所の立上げ訓練を行いました。

※避難所の開設・運営は避難所に来た人達で運営していきます。各避難所では避難所に来た人たち誰もが対応できるマニュアル（開設キット）、備品の整備を行っています。